



学生団体Flagship

大阪・関西万博 小学生向け自由研究サポート

EXPO2025 エネルギーツアー 参画報告書





世界に通用する人材を育てる

私たち学生団体Flagshipは
高校生の探究学習に着目した事業の運営を通じて
次世代を担う高校生が切磋琢磨し成長できる場を創造します。

2022年より高校のカリキュラムで探究学習が必修化されましたが
その手法を十分に学べる環境、その成果に対し適切な評価を受ける機会は
依然として十分ではありません。

探究学習を軸とする事業の運営を通じて
高校生の思考力や課題解決のための能力の向上を目指します。

目次

1. EXPO2025 エネルギーツアーについて	4
2. エネルギーツアー 開催概要	5
3. 高校生ボランティア 募集概要	6
4. 高校生ボランティア 高校一覧	8
5. 開催に向けた活動	9
6. 当日の活動	10
7. 総括	12

1. EXPO2025 エネルギーツアーについて

■ イベント趣旨

～次世代を担う子どもたちがエネルギーについて考える機会の提供～

電気事業連合会・パナソニックホールディングス株式会社・NTTグループの3社が主催する「EXPO2025エネルギーツアー」は、計120名の小学生が大阪・関西万博のパビリオンを巡りながら未来社会を体感し、そこで得た学びをもとに自由研究に取り組むイベントです。

弊団体は小学生の学びをより良いものにできるよう団体メンバーと団体で募集した高校生ボランティアをチューターとして派遣いたしました。

これに加え、より良い学びを提供できるようイベント開催前から主催者様と共創を重ねました。
(詳しくは5.開催に向けた活動を参照)

■ 参画に向けた歩み

～大阪・関西万博を舞台とした学びの場の創出～

「EXPO2025エネルギーツアー」は「次世代を担う子どもたちへエネルギーについて考える機会を提供すること」を目的としたものであり、電気事業連合会・パナソニックホールディングス株式会社・NTTグループの3社が主催するイベントです。

学生団体Flagshipは、小学生の自由研究活動の質向上に向けて共創できないか、というご提案をいただき、参画する運びとなりました。

このようなすばらしい機会をいただき、この場を借りて深くお礼申し上げます。

2年前、当団体は、ミッションとして掲げる「世界に通用する人材を育てる」を念頭に、さらなる学びの場として大阪・関西万博への参画を目指し、広報活動を行っていました。

そうした中2023年11月、学内で開催された万博をテーマとするトークイベントにピッチ登壇した際、主催者様とお会いし、我々の活動に関心を寄せていただき、何度も話し合いを重ね、最終的に「万博で小学生に未来のエネルギーについての学びの場を提供する」という構想に、高校生・大学生をボランティアとして提供する、という形で参画させていただくこととなりました。

万博での新たな学びの場の創出は我々にとっても挑戦でしたが、主催者様と話し合いを重ねた結果、我々が運営するFuture Global Leaders Camp (FGLC) 2025と連携し、更なる学びと経験を得られる場を創出することができたと感じております。

■ 当日の参画内容

～高校生のボランティア募集～



当日はFlagshipメンバーと、Flagshipが募集した高校生ボランティアがチューターとして参加しました。

(詳しくは 3.高校生ボランティア 募集概要/6.当日の活動 を参照)

大学生・高校生をペアにすることで、参加者である小学生のみならず、ボランティアである高校生にとっても学びのあるイベントとなるよう努めました。

午前には、電力館・パナソニックグループパビリオン・NTT Pavillion、3つのパビリオン見学の引率を行い、円滑なイベント運営に尽力しました。

午後には、EXPOサロンにおける「個人研究」ワークに、小学生の思考を補助するチューターとして参加しました。個人研究ワークに関しては、時間配分やワークの内容など、ワークの構想段階から参加し、主催者様と共に検討を重ねました。

2.エネルギーツアー 開催概要

日時	2025 年 8 月 9 日（土）・16 日（土）・17 日（日）
場所	大阪・関西万博会場内 【展示体験】 電力館 可能性のタマゴたち パナソニックグループパビリオン「ノモの国」 NTT Pavillion 【自由研究】 EXPOサロン
ツアー人数	各回小学生40名・引率保護者40名 計240名
参加対象	小学4年生～6年生
主催	電気事業連合会 パナソニックホールディングス株式会社 NTTグループ
チューター	【学生団体Flagship】各回6名 計18名 【高校生ボランティア】各回6名 計18名 ＊当日欠席者があり、大学生19名・高校生17名となりました。
プログラム	パビリオン見学 個人研究

学生ボランティアを提供するに際し、我々は高校生のボランティアを受け入れることで、高校生の新たな学びの場の創出を目指しました。また、チューターの質の担保のため、学生団体Flagshipのメンバーとペアで行動する形態をとることとしました。

3.高校生ボランティア 募集概要

募集対象	高校生 高専1－3年生
募集人数	各回6名 計18名 *当日欠席者があり、大学生19名・高校生17名となりました。
参加費	無料
プログラム	集合・オリエンテーション 【パビリオン見学】 参加者引率 【自由研究】 ファシリテーション
選考基準	関西圏からの参加者を優先 FGLC2025参加者 優先案内
応募数	139名

FGLC2025/エネルギーツアーの両イベントが相互に作用することで高校生の学びとなることを期待し、FGLC2025参加者優先案内の募集として選考基準を設定しました。

広報に関しては、FGLC2025の広報に併せて全国327校へ高校生ボランティア募集チラシ（次頁参照）を送付したほか、当団体の公式ホームページ、各種SNSにて情報発信を行いました。

結果18名の募集に対し、応募数は当初の予測をはるかに上回る139名にのぼり、倍率は7.7倍を超えたほか、多くのFGLC2025応募者から応募があり、最終的にFGLC2025参加者6名をボランティアとして迎えました。これにより「両イベントの相互作用による学びの提供」という目的を達成することができたと感じております。

※8/16のイベント時に高校生ボランティアで体調不良者が発生したため、団体メンバー1名を派遣する形で補填いたしました。

【高校生ボランティア募集チラシ】

大阪・関西万博 エネルギーツアー 高校生ボランティア募集



大阪・関西万博の会場で
開催される小学生向けイベント
「エネルギーツアー」で
小学生の夏の自由研究をサポート！

当日はNTT館・パナソニック館・電力館の
3つのパビリオンを見学して得た学び
をもとに自由研究に取り組む小学生を
高校生ボランティアとして
大学生とペアを組んで
サポートしていただきます。



Point 1 /
阪大生のサポートのもと
小学生を対象とした
ボランティアを経験できる

Point 2 /
万博会場で
探究学習をサポートしながら
実践的に学びを深められる

Point 3 /
8/18-20に開催されるFGLCと
併せて参加することで探究学習の
プロセスをより多面的に学べる

日時

8/9
(土)

8/16
(土)

8/17
(日)

8:00-17:00 (予定)

※3日程のうち1日程のみの参加となります。
時間は目安です。今後変更となる可能性があります。

プログラム

ペアの大学生と
当日の流れを確認

参加者の引率

ファシリテーション
(思考の誘導・サポート)

集合・下見

参加者集合
オリエンテーション

パビリオン見学

自由研究作成

詳細は裏面へ▶▶

募集

高校生
高専1-3年生
各日程6名

参加費

無料

場所

夢洲

交通費

支給(上限1万円)
※宿泊費支給なし

より高度な学びを目指す高校生へ

Flagship (大阪大学学生団体Flagship) が運営を担い、8/18(月)-8/20(水)に開催する
大阪大学大学院国際公共政策研究科主催イベント、Future Global Leaders Camp (FGLC)
とあわせて参加することで、
議論のサポートに加え、探究学習の手法について、より深く実践的に学べる！

8/9.16.17
エネルギーツアー
参加

(帰宅)

8/18-20
Future Global Leaders Camp
参加

【遠方から参加の場合】

8/17
エネルギーツアー
参加

大阪にて宿泊
※宿泊費(約9,000円)は自己負担
ホテルは運営が手配いたします。

応募の流れ

QRコード or 学生団体Flagship公式HPから必要事項を記入して申し込み

ー応募者が定員を超えた場合は以下の選考基準に基づき参加者を決定

ー応募締切 : 6/30 (月)

【選考基準】

・関西圏からの参加者を優先(交通費支給の都合上)

・FGLC2025一次課題での成績を考慮(FGLC参加者への優先案内のイベントのため)



問い合わせ先

ご不明な点等ございましたら当団体までお気軽にお問い合わせください。
大阪大学学生団体Flagship (大阪大学公認団体)



flagshipoct12021@gmail.com



https://flagshipoct12021.wixsite.com/----flagship

4.高校生ボランティア 高校一覧

【近畿】

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎
大阪教育大学附属高等学校平野校舎
大阪府立茨木高等学校
大阪府立北野高等学校
大阪府立水都国際高等学校
大阪府立千里高校
大阪府立天王寺高等学校
大阪府立豊中高等学校
開智高校
関西大倉高等学校
京都市立堀川高等学校
京都女子高等学校
金蘭千里高等学校
神戸海星女子学院高等学校
四天王寺高校
親和女子高等学校
須磨学園高等学校
清風高等学校
清風南海高等学校
帝塚山学院泉ヶ丘高等学校
鳥羽高等学校
奈良県立郡山高等学校
西宮市立西宮高校
白陵高等学校
初芝富田林高等学校
兵庫県立姫路東高等学校
三重県立四日市高等学校
洛南高等学校
立命館宇治高等学校
和歌山信愛高等学校

【中部】

愛知県立津島高等学校
豊橋東高校
新潟県立国際情報高等学校

【四国】

愛光高校
愛媛県立今治西高等学校
高知学芸高等学校
高知県立高知追手前高校

【中国】

岡山県立岡山芳泉高等学校
郡山高校

【九州】

長崎東高校

【国外】

Notre dame Catholic sixth form college

5. 開催に向けた活動

【2024年3月-8月】：4者ミーティング

オンラインにて、電力館・パナソニックグループパビリオン・NTT Pavilionの各パビリオン担当者様と複数回打ち合わせを重ね、より良いイベントになるようイベントの方向性に関する議論を行いました。

【2024年7月】：対面打ち合わせ

弊団体を学生プロジェクトとしてご支援いただいている大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)が持つ大阪大学SSIラウンジにて電気事業連合会様と打ち合わせを行いました。

当日は開催の概要を打ち合わせるだけでなく、弊団体が運営するFGLCと相互作用しあうイベントの形態を模索いたしました。

【2024年11月-2025年1月】：自由研究用ワークシート提案

当日参加者に取り組んでいただく自由研究用ワークシートの構成・内容を作成し、各社様へ提案いたしました。

作成時には、小学生にとって学びになるだけでなく、自由な発想力を最大限発揮できる設問・構成づくりを試み、何度も施策を重ねました。

【2025年4月-5月】：ボランティア募集

弊団体が運営するFGLC2025の広報に併せ、全国327校へ高校生ボランティア募集チラシを送付したほか、団体公式ホームページ、各種SNSにて情報の発信を行いました。

【2025年7月】：ボランティア参加者決定

6月30日深夜にて募集を締め切り、予想をはるかに上回る計139名の応募を受け、基準(3.高校生ボランティア募集概要 参照)に基づいて18名の高校生ボランティアを決定いたしました。

【2025年8月5日】：下見

3つのパビリオンの担当者様と大阪・関西万博の会場である夢洲にて最終の打ち合わせと認識の共有を行ったほか、当日のルートを実際に回り、懸念点の洗いだしを行いました。

6. 当日の活動

【午前】①電力館 ②パナソニックグループパビリオン ③NTT Pavilion 見学引率



左図のようにグループに分かれ、2グループごとに、計3つのパビリオンを順に見学しました。

各グループにFlagshipメンバーと高校生がペアで付き、引率と補助を行いました。

①電力館 可能性のタマゴたち

タマゴ型デバイスでエネルギーに関するたくさんの新たな可能性を体験し、未来を切り拓くエネルギー技術にふれました。

2Fの可能性エリアでは水素発電・振動力発電を主に体験し、「カーボンニュートラル」を軸とする次世代エネルギーについての理解を深めました。

②パナソニックグループパビリオン 「ノモの国」

パビリオン内の結晶の探索・蝶との冒険を通じ、自分の感性や想像力を解き放ち新たな自分を発見する体験をしました。

パビリオン終盤の大地エリアではペロブスカイト太陽電池などについて、パビリオン担当者様から次世代のエネルギーの可能性に関するチュータリングを受けました。

③NTT Pavilion

未来の通信をテーマに、時間や場所を超えて人とつながることができる次世代技術

「IOWN」に関連した体験をしました。

パビリオンの見学前にパイプライン網を有するNTTグループ様ならではの水素エネルギーの活用に関するチュータリングを受けました。



【午後】 EXPOサロンにおける自由研究ワーク ファシリテーション

各パビリオン担当者様から10分ずつのレクチャーをしていただき、40分程度で各パビリオンの体験をベースに自由研究に取り組みました。ワークののち、全体での成果の発表やパビリオン担当者様による講評を受けました。

大学生・高校生ボランティアはチューターとして、小学生のワークを通じて得た学びを最大化できるよう、発想の手助けとなる声かけなどを通し、自由研究のファシリテーションを行いました。

ーワーク内容ー

①電力館 可能性のタマゴたち

水素エネルギーについて基礎知識の確認を目的とした穴埋めワークののち、水素の環境課題解決における重要性・水素エネルギーの普及率を向上させる方法について、自由な発想で研究に取り組みました。

②パナソニックグループパビリオン 「ノモの国」

パビリオン内で学んだ水素エネルギー・ペロブスカイト太陽電池に関する基礎知識を確認したのち、上記エネルギーの利点を活かした未来社会についての構想に取り組みました。

③NTT Pavilion

パビリオン内の水素コンテナに関連した水素エネルギー技術や中核となる「IOWN」技術に関する基礎知識の確認ののち、同技術を活用した未来社会についての構想に取り組みました。



7. 総括

「団体のプレゼンスを向上させたい」という初代メンバーからの想いを実現させる場として、大阪・関西万博において学びの場を創造する挑戦は始まりました。万博関連イベントにおける団体の広報などを行う中で電気事業連合会様にお声がけをいただき、パナソニックホールディングス株式会社様・NTTグループ様と協働し本プロジェクトは始動いたしました。

待兼山会議・FGLCと高校生たちの学びの場を提供する弊団体にとって、「小学生」の学びの場を提供する本プロジェクトは前例のないものでした。そういった中でも、エネルギーツアー事務局様から多大なサポートを受け、運営の面で多くを学ばせていただきながら、イベントを盛況に遂行することができました。

本イベントの開催にご尽力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

本イベントは「Yahoo! ニュース」に掲載されるなどの広報効果もあり、FGLC2025は過去最高の応募者数を更新するなど団体のプレゼンスも向上したと感じております。大阪大学内外を問わず学びの場を提供できるという本イベント参画経験を活かし、今後も「世界に通用する人材を育てる」という団体としてのミッションを全うして参ります。

学生団体Flagship
EXPO2025エネルギーツアー担当
井上惟・政井秀仁

運営・発行



Web: <https://flagshipoct12021.wixsite.com/----flagship>

発行：2025年9月